

いなべ市小規模事業者景気動向調査

(令和6年7月～9月の景況)

いなべ市商工会

1 調査概要

調査時期	令和6年9月
調査地域	三重県いなべ市
調査企業数	49社(内訳 サービス業8社 飲食業7社 卸・小売業14社 建設業8社 製造業12社)

2-1 総論

企業経営の第一の問題点として、仕入価格の高騰などの物価高があげられるようになってから久しい。この物価高の一因とされていた歴史的な円安について、1米ドルに対する円の価格は、令和6年7月上旬の160円前後から、9月下旬時点で、140円台前半で推移しており、前回調査時と比べ大きな変化があったといえる。日米の金融政策の変更や、米国の景気に対する懸念が要因とされている。ただ、日銀の金融政策も、株式市場等の反応に右往左往している感があり、11年にわたった異次元の金融緩和からの転換に苦慮しているといえよう。また、10月から、郵便料金を含み様々な物品の値上げが予定されており、電気・ガス料金の政府の補助金も10月で終わることから、物価高はしばらく続くと考えられる。

このような経済状態のなか、令和6年7月以降の景況をいなべ市内の小規模事業者から聞き取り、調査を行ったので、以下にその結果を報告する。

なお、以下で「今期」とは令和6年7月から令和6年9月を、「前年同期」とは令和5年7月から9月を、「前期」とは令和6年4月から令和6年6月をいう。

2-2 飲食業 7社

業況は改善傾向を維持している

(1) 売上(収入)額

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
------	-------	-------	--------

増加	5	5	3
減少	1	0	1

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	3	3	2
減少	1	1	2

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	5	1	3
減少	0	0	0

前年同期と比べるとやや悪化しているが、来期の見通しは改善傾向にある。

(2) 客単価

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	5	3	1
減少	0	0	0

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	4	2	0
減少	0	0	0

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	4	1	1
減少	0	0	0

客単価に関しては、引き続き改善傾向にある。

(3) 利用客数

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	3	3	3
減少	1	0	1

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	2	2
減少	1	1	2

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
----	-------	-------	--------

増加	2	1	3
減少	0	0	0

利用客数に関しては、やや悪化傾向にあるが、来期の見通しはやや改善している。

(4) 資金繰り

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	1
悪化	0	0	0

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	0
悪化	0	0	1

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	1
悪化	0	0	0

資金繰りは変化がない

(5) 採算（経常利益）

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	2
悪化	1	2	2

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	0	2
悪化	1	1	1

採算は、やや改善している。

(6) 業況（自社）

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	1	2
悪化	0	0	1

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	0	1

悪化	0	1	1
----	---	---	---

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	0	1
悪化	0	0	0

今期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	2	1	0
悪化	0	0	0

業況に関しても、やや改善しているといえる。

(6) 小括

飲食店に関しては、前回、前々回調査時に引き続き業況は改善傾向にある。仕入単価の上昇、人件費の増加、従業員の確保難を問題点に挙げる企業が多いことは前回調査時同様である。一方で、需要の停滞を経営上の重要な問題点に挙げる企業もあり、注意が必要であろう。

2-3 サービス業 8社

採算はやや悪化するも、業況は改善傾向にある

(1) 売上（収入）額

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	2	2
減少	0	4	4

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	2	3
減少	3	3	4

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	2	0	0
減少	0	2	3

売り上げは前期と比べ悪化している。しかし、来期の見通しは改善傾向にある。

(2) 客単価

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	0	3
減少	1	2	2

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	1	1
減少	1	3	3

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	2	0	1
減少	0	3	2

客単価は前回調査時と比べ改善傾向にある。

(3) 利用客数

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	2	1
減少	1	3	5

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	2	2
減少	2	4	4

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	0	0
減少	0	3	3

前回調査時と比べると改善傾向にあり、来期の見通しも明るい。

(4) 資金繰り

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	0
悪化	2	3	5

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	1	0
悪化	2	2	6

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	0
悪化	1	3	2

前年同期と比べると改善しているが、前期と比べるとやや悪化している。

(5) 採算（経常利益）

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	0
悪化	4	3	6

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	0
悪化	2	3	4

前回調査時と比べ。やや悪化している。

(6) 業況（自社）

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	1
悪化	1	3	4

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	1	0
悪化	1	2	4

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	0
悪化	1	3	1

今期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	0	2
悪化	2	2	1

前回調査時と比べ、前年同期では改善し、来期も改善傾向にある。

(6) 小括

従業員の確保難、人件費の増加、材料等仕入単価の上昇を経営上の問題点に

あげる企業のほか、需要の低下を問題点としてあげる企業が増えてきている。

2-4 小売業14社

採算が改善し、業況は好転している

(1) 売上額

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	4	4	5
減少	3	5	5

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	4	3	4
減少	4	5	6

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	3	2	2
減少	3	4	8

前回調査時と比べ売上額は増加傾向にある。

(2) 客単価

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	2	4	4
減少	2	3	1

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	0	2	4
減少	2	4	1

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	1	1
減少	2	3	1

前年同期と比べると悪化しているが、来期の見通しはやや改善している。

(3) 客数

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
------	-------	-------	--------

増加	3	2	3
減少	5	10	6

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	2	1	3
減少	4	8	5

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	2	0	0
減少	4	5	7

大幅に悪化した前回調査時に比べ、改善している。

(4) 資金繰り

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	1	1
悪化	1	0	2

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	1
悪化	1	1	3

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	0	0
悪化	2	2	3

前年同期、前期とも、前回調査時同様、ほとんどの企業が不変と回答している。来期についても、前回調査時同様、ほとんどの企業が不変と回答している。資金繰りに関しては、前回調査時とほぼ変化がない。

(5) 採算（経常利益）

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	1	2
悪化	4	7	5

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	0	1
悪化	2	6	3

前回調査時までは徐々に悪化していたが、改善傾向にある。

(6) 業況（自社）

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	1	1
悪化	2	4	5

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	1
悪化	1	3	1

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	0	1
悪化	3	2	3

今期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	2	0	0
悪化	3	1	1

悪化傾向にあった前回調査時と比べ、改善傾向にある。

(7) 小括

前回調査同様、仕入単価の上昇をあげる企業が多かった。これに関し、材料のみならず、包装紙なども短期間に上昇を繰り返しているとの意見があった。10月から様々な物品が値上げになり、来期はさらに仕入れ値があがることを懸念する企業もある。人件費の増加、大型店や同業者との競争のほか、店舗の狭さや駐車場問題をあげる企業が複数あった。採算が改善したのは、客単価を上げたからであって、客数自体は減少してきていることを問題点としてあげる企業もある。このように、小売業に関する経営上の問題点は、企業によって様々であるといえる。

2-5 建設業 8社

採算と業況は改善傾向にある

(1) 完成工事額

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
------	-------	-------	--------

増加	2	2	6
減少	4	2	4

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	2	2	4
減少	4	2	4

来季	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	2	3
減少	4	4	3

前年同期とくらべ、悪化傾向が続き、前期と比べても悪化している。来期の見通しも悪化傾向にある。

(2) 受注額

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	1	4
減少	2	2	3

来季	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	0	2	1
減少	1	4	2

前回調査時と変わらないが、来期の見通しは改善傾向にある。

(3) 材料仕入単価

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	4	5	9
減少	0	0	0

来季	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	3	1	8
減少	0	0	0

前年同期と比べ、減少したと回答する企業はなかったことは前回、前々回調査時同様である。来期に関しても、ほとんどの企業が変化なしと回答している。よって、材料仕入れ単価については高止まり傾向にあるといえる。

(4) 採算（経常利益）

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	2
悪化	1	4	2

来季	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	2
悪化	1	4	1

前回調査時は悪化していたが、改善傾向にある。

(5) 業況

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	1	4
悪化	2	4	2

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	1	3
悪化	1	4	1

来季	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	2
悪化	0	4	3

今期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転		0	1
悪化		4	4

悪化傾向にあった前回調査時に比べ、改善傾向にある。

(6) 小括

材料価格等の経費の上昇の他に、下請業者の確保難、民間需要の停滞をあげる企業があった。また、請負単価の低下・上昇難、取引条件の悪化を問題点としてあげる企業もあり、価格転嫁が経営上の問題となっている可能性がある。

2-6 製造業 12社

引き続き、業況は改善傾向にある

(1) 売上額

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	4	3	6
減少	4	7	7

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	3	3
減少	3	4	9

来季	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	3	2	4
減少	1	7	6

前年同期と比べると改善傾向にあるが、前期と比べると、悪化傾向にある。しかし、来期の見通しは前回調査時と比べ大きく改善している。

(2) 売上単価

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	6	4	4
減少	2	0	0

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	3	2	1
減少	1	0	3

来季	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	3	1	1
減少	1	2	3

前年同期、前期については、前回調査時と同様に増加傾向にある。来期の見通しも増加傾向にある。

(3) 売上数量

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	2	3	4
減少	2	7	8

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	3	2
減少	4	5	8

来季	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	1	3
減少	2	8	6

前回調査時と比べ、前年同期は改善しているが、前期と比べ悪化している。
来期の見通しについては改善している。

(4) 資金繰り

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	0
悪化	3	7	4

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	1	0
悪化	1	6	4

来季	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	0	0
悪化	2	7	5

前回調査時とくらべ、いずれも改善傾向にある。

(5) 採算（経常利益）

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	0	0
悪化	3	6	5

来季	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	2	1	0
悪化	2	6	5

前回、前々回調査と比べ、採算は大幅に改善しているといえる。

(6) 業況（自社）

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	2	2
悪化	2	7	8

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	1	1
悪化	1	4	6

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	2	1	0
悪化	2	6	3

今期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	2	1
悪化	1	5	5

前回調査時と比べ、改善傾向にある。

(7) 小括

前回、前々回調査時同様、原材料価格が増加もしくは高止まりしていると回答し、経費が増加していることを問題点にあげている企業がほとんどである。熟練技術者を含む従業員の確保難や、生産設備の老朽化をあげる企業も複数あった。このほかに目立ったところとしては、需要者のニーズの変化、需要の停滞をあげる企業があり、需要を喚起するために企業の発信の重要性を意識している企業があった。資金の借入難や金利負担の増加を問題点としてあげる企業も複数あり、いずれも今後の対策が必要とされよう。

3 総括

前回の調査では、製造業とサービス業では業況の改善がみられたが、小売業と建設業で業況の悪化傾向がみられた。今回の調査では、全業種とも業況が改善している。しかし、依然として、すべての業種で、物価高騰による経費の上昇が採算を圧迫している。円高傾向に振れている為替と、利上げの方向が、今後の企業経営にどのような影響を与えるか注視する必要がある。

以上